第7講

小論文を紡ぐ手順（5）
原稿用紙に「書く」

チャプター1

レクチャー①　原稿用紙の使い方

○ 原稿用紙の使い方NG例

小論文の書式には、原稿用紙のマス目が用いられることがあります。原稿用紙の使い方を誤ると、減点対象になったり、悪印象を与えたりする恐れがあります。小論文を書く前には、必ず原稿用紙の使用に関するルールを確認しましょう。些細なミスは、できる限り避けたいものです。

×3
句読点、小文字
句読点や小文字（っ、ゃなど）、カギかっこも1マス分使います。

×4
二重カギかっこ
二重カギかっこ（『　』）は書籍の題名を記す場合や、カギかっこ内でかっこを使用する場合のみ使います。通常はカギかっこ（「　」）を用います。

×5
記号、クォーテーションマーク
記号（!や?）やクォーテーションマーク（“ ”）の使用は避けましょう。

×6
行の頭
句読点・小文字・とじかっこが行の頭にくる場合は、直前行の最後の1マスに他の文字と共に記入します。

×〈悪い例〉

×1 地球温暖化は、異常気象や水資源の格差拡大
浸水被害、感染症の拡大、生物多様化への影
響など、さまざまな問題 ×2 引き起こす。地球
温暖化のおもな原因はCO2をはじめとした温
室効果ガスの増加にあるといわれ ×3 いる。
温室効果ガスの増加のきっかけは、人間による
エネルギーの過剰消費にある。その背景には
人口爆発による人口の増加がある ×4 人口の増
加による『大量生産・大量消費』に伴う資源
の多用や廃棄物の放出などは、環境に多大な
影響を与える。特に、化石燃料の燃焼で生じ
る温室効果ガスは、気温の上昇のほかに海面
の上昇や気候の変化も引き起こし、生態系の
崩れや異常気象の増加、農林水産物への影響
などが懸念されている！ ×5 、
　このような重大な問題に対応するためには
×6 、今後は地球温暖化の進行を食い止める取り
組みが求められる。たとえば、代替エネルギ
ーや省エネ製品の積極的利用、植林や自宅の
緑化といった取り組みを積極的に行うべきだ。
×7

×7
句点
最終行の最後のマス目に句点を同居させると、字数オーバーになる恐れがあります。最終行に限っては句点も1字と数えましょう。

×1
書き始め
書き始めや段落を分ける場合には、最初の1マス目を空けます。ただし、1マス目から書くように指示されている場合は、その指示に従いましょう。

×2
数字、アルファベット
横書きの原稿用紙で数字を用いる際は、漢数字とアラビア数字（1、2など）のどちらも使用できます。アルファベットや単位記号（kmなど）も使えます。アラビア数字を書くときは1ケタならば1マス1字、2ケタなら1マス2字で記します。アルファベットは大文字ならば1マス1字、小文字ならば1マス2字にします。

【注意】縦書きの場合、数字は漢数字（一、二など）のみを用い、1字に1マス使用します。アラビア数字は使いません。単位記号やアルファベットは横倒しに書きますが、略称や略号などは縦書きのまま書いてもかまいません。

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター2

レクチャー② 表記・表現上の注意

小論文を書く際には、表現や表記に気を付けなければなりません。表現・表記への気配りは、読み手の無用な混乱を防ぎます。また、あなたの意図を正しく伝えることにもつながります。一方で、表現や表記上の誤りは減点の対象となる恐れもあります。正しい表現・表記を心掛けましょう。

文章の長さ（○1）

✕ 一般的な日本人像としては「集団主義的」「恥の文化」「道徳意識が高い」などがあるが、こうした見方で日本人という集団を捉えることは、日本人の国民性や日本文化の特性を理解し、行動原理を解明する足掛かりになる一方で、個人の特性を捉えるには不十分であるという指摘もあり、一般的な日本人像の多くは日本人の多様性を考慮したものではなく、必ずしもすべての個人に当てはまらない。

○ 一般的な日本人像としては「集団主義的」「恥の文化」「道徳意識が高い」などがある。こうした見方で日本人という集団を捉えることは、日本人の国民性や日本文化の特性を理解し、行動原理を解明する足掛かりになる。一方で、個人の特性を捉えるには不十分であるという指摘もある。一般的な日本人像の多くは日本人の多様性を考慮したものではなく、必ずしもすべての個人に当てはまらない。

呼応表現（○2）

✕ 今まで経験してこなかった役割を担ってみたり、新しい経験や体験をしてみることが欠かせない。
○ 今まで経験してこなかった役割を担ってみたり、新しい経験や体験をしてみたりすることが欠かせない。

✕ なぜなら、すべて自分の思い通りにできるわけはなく、ときには自由な振る舞いが他者の自由を妨げることもある。
○ なぜなら、すべて自分の思い通りにできるわけはなく、ときには自由な振る舞いが他者の自由を妨げることもあるからだ。

誤りやすい漢字・送りがな・かな表記（○3）

✕ 忙がしい → ○ 忙しい　✕ 短かい → ○ 短い　✕ 決っして → ○ 決して
✕ 価値感 → ○ 価値観　✕ 少しづつ → ○ 少しずつ　✕ コミニュケーション → ○ コミュニケーション

句読点（○4）

✕ 心の豊かさとは、個人が、精神的に、満たされていて、余裕が、あるさまを指す。
○ 心の豊かさとは、個人が精神的に満たされていて余裕があるさまを指す。

文末表現（○5）

✕ 自らの正義に対して常に疑問を持つとともに、他者が持つイデオロギーや正義を一度受けとめることが必要となります。ときには、集団内の利益をもたらすのであれば変更することも考えなければならないだろう。

✕ 自らの正義に対して常に疑問を持つとともに、他者が持つイデオロギーや正義を一度受けとめることが必要となります。ときには、集団内の利益をもたらすのであれば変更することも考えなければならないでしょう。

○ 自らの正義に対して常に疑問を持つとともに、他者が持つイデオロギーや正義を一度受けとめることが必要となる。ときには、集団内の利益をもたらすのであれば変更することも考えなければならないだろう。

会話調の表現・略語（○6）

✕ そんな、こんな → ○ そのような、このような　✕ 自分はこう思う → ○ 私はこう思う。
✕ 部活 → ○ 部活動　✕ 携帯 → ○ 携帯電話

表現技巧・無意味なカタカナ書き（○7）

✕ 重要なのは、時代や社会に合った教養を身につける機会を積極的に生み出すこと。
○ 時代や社会に合った教養を身につける機会を積極的に生み出すことが重要だ。
✕ 大切なのではないか。人文・社会・自然の諸科学を分け隔てなく学び、それらを時代に合わせて活かしていくことが。
○ 人文・社会・自然の諸科学を分け隔てなく学び、それらを時代に合わせて活かしていくことが大切なのではないか。
✕ 「これからどう生きるべきか」を考えることがホントに大切である。
○ 「これからどう生きるべきか」を考えることが本当に大切である。

○1 文章は短く区切る
文章が長くなると、主語と述語、修飾語と被修飾語との関係が曖昧になり、ねじれ表現（「重要なことは、気持ちがなければならない。」など、主語と述語がねじれている表現）を生む原因となります。

○2 呼応表現は正しく使用
たとえば「なぜなら」と書き始めたら、「〜からだ。」などといった表現を用います。「〜たり、〜たり」は、特に誤りが多い呼応表現です。また、呼応関係は一文中のみ働きますので、文をまたいで使用することはできません。

○3 漢字表記などの誤り
漢字、送りがな、かな表現の誤りに気を付けましょう。また、漢字のあるものは原則漢字表記です。思い出せない部分のみ平仮名を使用した、漢字かな交じりの表現も適切ではありません。外来語の表記ミスにも注意しましょう。

○4 句読点の注意
句点（。）は文の終わりに打ちます。読点（、）は適切にうちますが、打ち過ぎたり少な過ぎたりしないようにしましょう。

○5 文体を統一する
小論文では敬体（です・ます調）を用いず、常体（だ・である調）で文体を統一します。

○6 会話調の表現・略語は用いない
「なので」「でも」「ちゃんと」「…じゃない」「お父さん」「僕」などは、会話調の表現です。それぞれ「このため」「しかし」「きちんと」「…ではない」「父」「私」などと書き換えましょう。ら抜き言葉（「見れる」「食べれる」「来れる」など）も使用しません。

○7 意図を正確に伝える
体言止め、倒置法、省略などの表現技巧を用いると、解釈を読み手にゆだねることになります。書き手の意図を正確に伝えることを目的とする小論文での使用は避けましょう。また、無意味なカタカナ書きの使用も、同様の理由で避けましょう。

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター3

レクチャー③　字数の増やし方・減らし方

ポイント

(　　　　　　　　　　)用紙の使い方に注意して記そう。
(　　　　　　　　　　)用紙ではなく、(　　　　　　　　　　)線の場合もある。
(　　　　　　　　　　)・(　　　　　　　　　　)への気配りが大切である。
(　　　　　　　　　　)調整ができるようになろう。
これらの誤りは(　　　　　　　　　　)点の対象となる恐れがあるので注意したい。

生徒メモ欄

教員記入欄

○ 字数の増やし方

●曖昧な表現、抽象的な表現を詳細に示す（解像度を上げる）

（修正前）　貧困問題は、資本主義が引き起こすものである。

↓

（修正後1）　貧困問題は、経済活動の自由を重視することによって引き起こされるものである。

（修正後2）　貧困問題は、経済活動の自由を重視することによって引き起こされるものである。これは何人もビジネスの契機を得られる一方で、成功することも失敗することも許されることでもあり、後者に貧困が訪れるということを意味する。

（修正後3）　貧困問題は、経済活動の自由を重視することによって引き起こされるものである。これは何人もビジネスの契機を得られる一方で、成功することも失敗することも許されることでもあり、後者に貧困が訪れるということを意味する。その背景には貯蓄と利子を認めていること、仮にそれらを認めた場合に再配分の機能が弱くなる経済の仕組みが存在することが考えられる。循環する経済の理想は貯蓄や利子をなくして売買することであるが、貯蓄や利子を認めると資本家は貯蓄をもとに利子や利ざやを得ようとし、さらに資本が蓄えられることになる。実質的にその行為は労働者からの搾取とみなされ、貧富の差が生じることになる。そして、蓄積した資本を税制によって再配分する仕組みがあれば循環するが、それが機能不全に陥る状況となれば、事態は深刻になる。

生徒メモ欄

教員記入欄

○ 字数の減らし方

●重複表現や修飾語句の削減、熟語の使用、遠回しの表現（無駄のない表現にする）

（修正前）　私たちにとってパフォーマンスが高いチームの特徴としてまず考えられるのは、誰かが指示されることがなかったとしてもメンバー一人一人が考えて動くことができることである。このようなチームをつくるにはどのような心構えが大事になるのだろうか。

↓

（修正後1）　パフォーマンスが高いチームの特徴の一つは、指示なくメンバー一人一人が考えて動くことである。このようなチームづくりに必要な心構えは何か。

（修正後2）　パフォーマンスが高いチームの特徴の一つは、自律性である。このようなチームづくりに必要な心構えは何か。

（修正後3）　パフォーマンスが高いチームの特徴である「高い自律性」の養成に必要な心構えは何か。

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター4

問題およびヒント

問題を見てみよう

日本における選挙権の年齢制限が18歳に引き下げられたことについて、あなたの考えを400字以内で述べてください。

（オリジナル）

解答案をつくってみよう

100

200

300

400

（　　　　字）

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S	A	B	C	F
意見(主張)	設問と意見の関係	S	A	B	C	F
	独自性・独創性・発展性	S	A	B	C	F
理由(根拠)	事実に基づいた論証	S	A	B	C	F
	重要性・問題性	S	A	B	C	F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S	A	B	C	F
	簡潔な記述	S	A	B	C	F
表記・表現	誤字・脱字	S	A	B	C	F
	段落の設定	S	A	B	C	F
	制限字数	S	A	B	C	F
	文体の統一	S	A	B	C	F
	表現技法	S	A	B	C	F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター5

答案例①

　私は、年齢制限が１８歳に引き下げられることに賛成であり、選挙にとって意味のあることだと思う。なぜなら、票数の増加と若者の票を増やすことが現在の選挙には求められているからだ。現在、投票率は下がり、その上高齢者の票の割合が増えている状態では選挙で国民全体の意見を反映しきれていない。

　一方で、１８歳では社会経験がない人が多く、正しい判断で投票できないのではないかという意見もある。しかし、年齢引き下げにより高校の授業でも選挙教育を行うようになり、ＳＮＳなどを使用するなど、若者に向けた選挙活動の方法も多様化してきている。そのため、１８歳でもしっかりと政治に対する考えを持つことができる環境が整いつつあるように思う。

　若者の投票数が増えることで、政治家が若者に向けた政策を考えることにもつながり、若者は選挙を通して政治に興味を持つきっかけが増え、意識も高まるはずだ。

(395字)

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S A B C F
意見(主張)	設問と意見の関係	S A B C F
	独自性・独創性・発展性	S A B C F
理由(根拠)	事実に基づいた論証	S A B C F
	重要性・問題性	S A B C F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S A B C F
	簡潔な記述	S A B C F
表記・表現	誤字・脱字	S A B C F
	段落の設定	S A B C F
	制限字数	S A B C F
	文体の統一	S A B C F
	表現技法	S A B C F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター6

答案例②

　選挙権が１８歳に引き下げられたことに私は反対である。一般的に１８歳は高校３年生だ。同じ学年で投票できる人とできない人に分かれるのはおかしい。選挙権が与えられたことで、初めは物珍しさに投票に行くかもしれないが、誰に投票するのか決められるのだろうか。私たちの年代は周りに流されやすい。学校という狭い場所でしか物事を見る機会がないため、友達がこの候補者にすると言えばその候補者にしてしまうだろうし、元芸能人など有名人が立候補すれば、政策も見ずにその候補者に投票してしまうと思う。しかし、それで良いのだろうかとも思う。高校生のうちはもっと自立するための練習が必要だ。

　今の日本の投票率はとても低い。元々選挙権があった大人が選挙に行かないのに、なぜ私たちが投票して政治に参加しなければいけないのかが疑問である。まずは、大人がしっかり政策を見極めて選挙に行き、私たちに手本を見せてほしいと思う。

(392字)

生徒メモ欄

教員記入欄

自己評価表

答案が完成したら、以下表を用いて自己評価してみましょう。
5段階評価の基準は、巻末のルーブリックを参照してください。

設問の理解	出題の意図および背景の理解	S	A	B	C	F
意見(主張)	設問と意見の関係	S	A	B	C	F
	独自性・独創性・発展性	S	A	B	C	F
理由(根拠)	事実に基づいた論証	S	A	B	C	F
	重要性・問題性	S	A	B	C	F
論理性・簡潔性	適切な論理展開	S	A	B	C	F
	簡潔な記述	S	A	B	C	F
表記・表現	誤字・脱字	S	A	B	C	F
	段落の設定	S	A	B	C	F
	制限字数	S	A	B	C	F
	文体の統一	S	A	B	C	F
	表現技法	S	A	B	C	F

生徒メモ欄

教員記入欄

チャプター7

レベルアップのための読書案内

本講で学んだことをブラッシュアップするために、
おすすめ書籍情報や本の読み方を学びましょう。

講義メモ欄

生徒メモ欄

教員記入欄